



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年8月14日

上場会社名 株式会社ヒューマンテクノロジーズ 上場取引所 東
コード番号 5621 URL <https://www.h-t.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 家崎 晃一
問合せ先責任者 (役職名) 経営管理室 (氏名) 加藤 翼 TEL 03-4577-9600
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	1,774	22.8	397	39.7	397	40.7	286	36.3
2025年3月期第1四半期	1,445	—	284	—	282	—	210	—

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 289百万円 (33.0%) 2025年3月期第1四半期 217百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	29.90	—
2025年3月期第1四半期	21.94	—

(注) 当社は、2024年3月期第1四半期について四半期連結財務諸表を作成していないため、2025年3月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	5,721	4,524	79.1
2025年3月期	5,887	4,431	75.3

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 4,524百万円 2025年3月期 4,431百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	20.50	20.50
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	0.00	—	28.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,265	20.0	1,285	38.1	1,285	37.5	888	35.6	92.63

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. 当社は年次での業務管理を行っておりますので、第2四半期（累計）の連結業績予想の記載を省略しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期1Q	9,593,200株	2025年3月期	9,593,200株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	43株	2025年3月期	—株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年3月期1Q	9,593,191株	2025年3月期1Q	9,593,200株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料はT D n e t で同日開示しています。

(代表者氏名に使用している漢字について)

表題に記載している代表者氏名の「崎」は常用漢字を使用しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緊迫化する世界情勢や資源・原材料価格上昇、円安進行や物価高騰、世界的な金融引き締めの影響など先行きに不透明な状況が継続しました。

当社グループが提供するサービス領域においても、2024年4月に「働き方改革関連法」の適用猶予事業への上限規制の適用、同年10月には厚生年金保険法・健康保険法に基づく被用者保険の適用拡大が実施されるなど、法制度対応の重要性が増しています。さらに2025年には、育児・介護休業法の改正により、看護休暇や所定外労働の制限対象年齢の拡大、テレワーク導入の努力義務化、育児休業取得状況の公表義務の拡大といった制度改革が予定されており、労務管理体制の一層の高度化が求められています。

加えて、「人的資本」経営においては「健康・安全」に関する情報開示の充実が進んでおり、勤務実態の可視化やコンプライアンスの徹底、従業員一人ひとりの多様な働き方への対応が企業に強く求められています。勤怠データはこれらの取り組みを支える中核的な基盤となっており、当社サービスの導入価値と社会的意義はこれまで以上に高まっています。

このような環境下において、当社グループは「人時生産性をお客様と共に考える」を企業理念とし、「オペレーションからの解放と創造的業務への後押し」をミッションに掲げ、勤怠管理を中心に給与計算の自動化など業務全体の効率化支援に取り組んでいます。

企業にとって最も重要な経営資源は、「ヒト(人材)」と考えるのもと、その「ヒト」の「時間」(人時)を管理するベースとなるのが「勤怠管理」であり、「人時生産性」を向上させることこそが、当社グループの使命であります。勤怠管理業務を、日々の煩雑なオペレーション業務から、「ヒト」に紐づく様々なデータを利活用できる創造的業務へと転換することを目指しております。

当第1四半期連結累計期間においても、新規案件は引き続きアナログ管理(紙やExcel)からの移行が中心となり、労務管理の高度化・効率化に対する需要と関心は高まりを見せています。中でも「KING OF TIME」は、業務効率化と法制度対応の双方を実現できるソリューションとして評価されており、新規導入件数も着実に増加しています。

2025年4月には「KING OF TIME 勤怠管理」を弥生株式会社へOEM提供し、「弥生勤怠 Next」としてサービス提供を開始しました。会計・給与領域に強みを持つ企業との協業により、会計事務所やスモールビジネスへの提供価値を高めるとともに、既存顧客基盤を活用したユーザー層のさらなる拡大を図っています。あわせて、現場のニーズに即した提案と効率的な営業展開を実現しており、地域や業種に特化したOEM、販売店パートナーとの連携も含めた柔軟なチャネル戦略は、当社の持続的な競争優位性を支える成長基盤の一つとなっています。

さらに、当第1四半期連結累計期間の売上増加には、2023年10月より段階的に進めてきた課金体系の変更も寄与しています。2025年4月には、直販および販売店経由の既存顧客に対して計画通り変更を実施し、本対応は概ね完了しています。これにより、実際の利用実態をより正確に反映した課金が可能となりました。OEMパートナーについても、同年4月以降、各社ごとに順次切替を進めております。

こうした導入拡大と利用の広がりを支えるため、初期設定サポートの無償提供や、複雑な要望に対応する有償サポート、プリセット機能やシステム内ガイドの拡充など、サポート体制の強化にも継続して取り組んでいます。これにより、導入時の負荷軽減と運用定着の両立を図り、より多くのお客様にとって使いやすい環境づくりを推進しています。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高1,774,076千円(前年同期比22.8%増)、営業利益397,192千円(前年同期比39.7%増)、経常利益397,179千円(前年同期比40.7%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益286,880千円(前年同期比36.3%増)となりました。

なお、当社グループは勤怠管理SaaS事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は4,844,861千円となり、前連結会計年度末に比べ100,124千円減少いたしました。これは主に前払費用が90,410千円増加、売掛金が63,520千円増加、現金及び預金が261,845千円減少したこと等によるものであります。固定資産は877,097千円となり、前連結会計年度末に比べ65,693千円減少いたしました。これは主に投資その他の資産が41,689千円減少、無形固定資産が24,243千円減少したこと等によるものであります。

この結果、総資産は、5,721,959千円となり、前連結会計年度末に比べ165,818千円減少いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は1,197,736千円となり、前連結会計年度末に比べ258,661千円減少いたしました。これは主に契約負債が106,720千円増加、未払法人税等が199,054千円減少、未払金が136,441千円減少したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は、1,197,736千円となり、前連結会計年度末に比べ258,661千円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は4,524,222千円となり、前連結会計年度末に比べ92,842千円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益286,880千円及び剰余金の配当268,609千円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2025年5月15日の「2025年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

なお、上記業績予想数値は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,974,081	3,712,235
売掛金	761,750	825,270
商品	37,346	47,130
前払費用	174,961	265,372
その他	4,565	5,402
貸倒引当金	△7,719	△10,549
流動資産合計	4,944,986	4,844,861
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備	66,235	66,235
工具、器具及び備品	172,914	170,096
減価償却累計額	△147,345	△144,288
有形固定資産合計	91,803	92,043
無形固定資産		
ソフトウェア	454,134	429,986
その他	14,171	14,075
無形固定資産合計	468,306	444,062
投資その他の資産		
投資有価証券	845	845
長期前払費用	40,403	32,751
破産更生債権等	901	912
繰延税金資産	275,391	242,018
その他	66,041	65,376
貸倒引当金	△901	△912
投資その他の資産合計	382,681	340,992
固定資産合計	942,791	877,097
資産合計	5,887,778	5,721,959

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	152,506	130,798
未払金	148,496	12,055
未払費用	344,504	302,657
未払法人税等	286,178	87,124
契約負債	210,963	317,684
賞与引当金	118,197	188,003
その他	195,550	159,412
流動負債合計	1,456,398	1,197,736
負債合計	1,456,398	1,197,736
純資産の部		
株主資本		
資本金	860,661	860,661
資本剰余金	840,731	840,731
利益剰余金	2,708,073	2,798,293
自己株式	—	△93
株主資本合計	4,409,465	4,499,592
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	21,914	24,629
その他の包括利益累計額合計	21,914	24,629
純資産合計	4,431,379	4,524,222
負債純資産合計	5,887,778	5,721,959

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	1,445,273	1,774,076
売上原価	439,236	547,802
売上総利益	1,006,037	1,226,274
販売費及び一般管理費	721,719	829,081
営業利益	284,318	397,192
営業外収益		
受取利息	0	165
補助金収入	400	222
固定資産売却益	—	181
その他	11	76
営業外収益合計	411	646
営業外費用		
支払利息	13	—
為替差損	2,470	659
営業外費用合計	2,484	659
経常利益	282,245	397,179
税金等調整前四半期純利益	282,245	397,179
法人税、住民税及び事業税	84,453	76,925
法人税等調整額	△12,643	33,372
法人税等合計	71,809	110,298
四半期純利益	210,435	286,880
親会社株主に帰属する四半期純利益	210,435	286,880

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	210,435	286,880
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	7,277	2,715
その他の包括利益合計	7,277	2,715
四半期包括利益	217,713	289,596
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	217,713	289,596

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

当社グループは、勤怠管理SaaS事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

当社グループは、勤怠管理SaaS事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	7,511千円	30,836千円